

地域支援だより

山梨県立ふじざくら支援学校
地域支援部通信 第6号
令和3年3月吉日発行
文責：石井めぐみ 古屋智子

暖かい日差しが降り注ぎ、春の陽気が感じられる季節となりました。園や学校、また関係諸機関の皆様には、今年度も本校の地域支援活動につきまして、御活用と御協力をいただきありがとうございました。本年度は、新型コロナウイルスの感染予防の対応等で、これまでとは全く違う生活環境となり、大変なことも多かったと思います。そうした状況の中でも、訪問させていただいた園や学校では、それぞれの子どもの成長を先生方と一緒に確認することができ、昨年度に引き続き、本年度も富士北麓地区における特別支援のセンター校として、園や学校、関係諸機関の皆様と連携し、地域に在住する特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援に努め、充実した支援活動を行うことができました。御理解と御協力に感謝いたします。

今後も、地域の皆様と共に、子ども達一人一人にとって、必要かつ適切な支援を一緒に考えさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

◆◆◆◆ 新年度へ向けて ◆◆◆◆

進級や就学・進学の際に、担任や担当の先生、環境が変わっても、子供達がスムーズに学校生活を送ることができるようするために、『引き継ぎのあり方』が重要です。子供の実態や課題点、また有効な支援方法についてまとめ、先生方が一年間積み重ねてきた成果を次年度につなげられるようにしておきましょう。支援を継続していくための『切れ目のない支援』が大切です。校内における進級での学年進行の際、また幼稚園・保育所から小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校へと学校間での引き継ぎが円滑に行われることで、子どもたちが安心して園・学校生活を送ることができます。新たに引き継いだ先生方も、見通しをもって日々の指導にあたることができます。山梨県教育委員会より出されている、「個別の教育支援計画」や「中高連携シート」を活用していただけると良いのではないのでしょうか。支援についての方向性や、幼児児童生徒の実態を共通確認するなど、新年度へ向けて『校内での引き継ぎ』また『学校間での引き継ぎ』を丁寧に行っていただきたいと思います。

🌸🌸🌸 令和2年度 ふじざくら支援学校 地域支援活動について (3月集計) 🌸🌸🌸

☆校外に出向いて行う主な支援活動について

訪問支援	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	合計
	16回	25回	9回	1回	51回

年度初めの休校期間があり、6月中旬より訪問支援を開始させていただきました。多くの園や学校からの要請があり、地域における『特別支援に関する相談窓口』として活用させていただきました。訪問回数は延べ51回でした。対応ケース数は、1日の上限を決めさせていただいたこともあり、206件と昨年度より減っています。そのうち小学校からの依頼が約半数を占め、6市町村に設置されている小学校の半数以上から要請がありました。また、本年度より、地域の高等学校で通級による指導が始まり、要請を受けて訪問支援を行いました。

相談をお受けした8割が通常の学級に在籍している子どもについての相談であり、特別支援学級に在籍している子どもたちへの支援が丁寧にされていることはもちろんですが、医学的な診断名があってもなくても、必要な支援がされるようになってきています。また、すでに専門機関につながっているケースも増え、各校の校内支援体制が整ってきていることや市町村教育委員会と連携し、必要な関係機関に早期につながれているなど、富士北麓地区における特別支援教育の推進が感じられました。

相談内容は「幼児児童生徒への指導支援について」が主で、行動面での様々な「困り」についての相談、読み書き困難や学習不振、情緒的な難しさを抱える児童生徒についての相談が引き続き多くありました。中学校においては、小学校時に支援を受けていた児童が中学に進学し、環境が変わったことでの対応の難しさに対する相談が主で、本校配置心理士を活用したケースもありました。例年とは違い、家庭訪問や行事がなく、先生方が保護者の様子や家庭環境についての情報が得られにくく、関係作りに苦慮している様子がうかがえました。

研修支援	市町村特別支援 連携協議会	南特研	富士吉田市 教育協議会	河口湖畔 教育協議会	学校校内 学習会	その他	合計
	8回	0回	2回	4回	1回	2回	9回

本年度も、地区教育協議会での助言の他、市町村連携協議会におけるアドバイザーや連携機関主催の研修会、校内学習会での講義依頼をいただきました。しかし、南都留特別支援教育研究協議会をはじめ、年度当初や夏休みに予定されていた研修会の多くが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

特別支援教育の理解と推進のため、また、幼児児童生徒の理解や先生方の実践に活きるよう、来年度も有益な研修を実施していきたいと考えています。

☆ふじざくら支援学校を会場として行った主な支援活動について

来校相談・授業体験・電話相談

	幼稚園・保育所生	小学生	中学生	高校生	その他	合計
来校相談	11件	5件	16件	1件	3件	36件
授業体験	11件	2件	11件	2件		26件
電話相談	34件					

本年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、2学期までの来校相談は、来年度本校への就学及び進学を検討している幼児児童生徒に限定して実施させていただきました。年長児の就学相談については、教育委員会や保健師、福祉担当者が連携し、各市町村で丁寧に対応していただいたことで、円滑に進めることができました。また、小学校6年生、中学校3年生の来校相談では、担任の先生に同席していただき連携することで、その後の進路学習へと活かしていただくことができました。

授業体験では、来年度本校への就学や進学の幼児児童生徒に限定し、実施させていただきました。例年より短い時間設定や付き添いの人数を制限しての開催に、御協力いただきありがとうございました。実際に特別支援学校の授業や教育方法、地域の学校との違いや特徴を知り、就学や進学の参考にしていただけたのではないかと思います。

電話相談では、教育関係、地域の保護者、福祉関係、保健関係等、各関係機関の方々から、困難化しているケース、継続支援しているケースについての情報共有や相談をお受けしました。

本年度は、校外からの来校を制限したため、就学及び進学予定以外の学年についての相談は見合わせさせていただきましたが、就学、進学に関する御相談は、ゆとりある進路選択のために、早めの時期の申し込みをお勧めします。すぐに来校相談や訪問支援が難しい場合でも、電話相談は常時受けておりますので、今後も御活用ください。

視覚や聴覚に課題のある子どもへの支援

「見え方」（弱視や色弱、視野の一部が見えづらいなど）や「聞こえ方」（難聴や特定の音が聞きづらいなど）に課題のあるお子さんへの支援について、盲学校やろう学校の教員と連携して支援を行い、より専門的に対応させていただきました。富士北麓地区に在住するお子さんで、「見え方」「聞こえ方」で気になることがありましたら御相談ください。

お気軽にお問い合わせください。

山梨県立ふじざくら支援学校 地域支援部 担当：石井めぐみ 山本志織 小宮山麻子 古屋智子 渡邊里
〒401-0301 南都留郡富士河口湖畔船津 6663-1
TEL 0555-72-5161 FAX 0555-72-5164
E-mail chiiki@fujizaky.kai.ed.jp HP <http://www.fujizaky.kai.ed.jp>